

国語科学習指導案

単元名「言葉をえらんで、短歌を作ろう たのしみは」

令和元年9月2日(月) 第2校時 桜2組教室
6年桜2組 指導者

I 授業改善の視点

絵を見て短歌の場面を想像する活動を取り入れることで、自分が楽しかった時の場面を思い出しやすくなり短歌を作りやすくなるだろう。

II 本時の学習 1/3

<ねらい>

- 短歌のもつ表現の効果を確かめて、短歌を書くことができる。

学習活動	指導上の留意点
<p>1 問題意識を持つ (5分) T: 夏休みのことをみんなに知らせよう。作文は長いね。できるだけ短く知らせるにはどんな方法があるかな。 S: 五・七・五になっています。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">単元の課題 表現しかたを確かめて、夏休みの楽しかったことを知らせる短歌を書こう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて 短歌ってどのようにできているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 導入では、平易なひらがなの句を選び、提示する。 動作を取り入れ、緊張をほぐすようにする。
<p>2 課題を追求する。(5分) T: 読み方のリズムはどのようにしたらいいだろうか。 S: 五七五七七で区切って読めばいい。 T: ほかの短歌も区切ってみよう。 S: 同じように五七五七七で区切れたよ。</p> <p>3 追究したことを比較・検討する。(7分) T: 短歌に合った絵を選びましょう。 T: 江戸時代の短歌だけど、今の言葉に近いところがあるから、言葉に注目してゆっくり読もう。</p> <p>4 個人でさらに検討しながら、短歌を書く。(15分) T: 生活の中の楽しみを「たのしみは」から始まる短歌にしてみましょう。 T: 「いつ・どこで・だれと・どのように・どうする」を考えて、選んで書くといいですよ。 S: 夏休みにどんなことをしたかな…。</p> <p>5 学習のまとめ・ふりかえりをする。(3分) T: 短歌にはどんな性格がありましたか。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まとめ 短歌は、五七五七七でできている。場面が思い浮かぶようにできている。</p> <p>T: 今日たくさんの短歌を区切ったり、短歌を作ってみたりした感想を書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現代の短歌を紹介し、親近感をもたせる。 言葉のリズムの楽しさを味わわせる。 慣れない言葉の短歌でも、同じリズムであることを伝え、安心して読むことができるようにする。 短歌にルビをふり、読みやすくする。 イメージをもたせるために絵を用いて、場面を想像させる。 「たのしみは～」から書き始めることで、発想や言葉の組み立ての際によりどころをもって取り組むことができる。 終わりは「～時」ではなくてもいいことや、五七五七七にきちんと収めなくてもよいことを伝え、作りやすい雰囲気にする。 思いつかない場合には、教師の楽しみを紹介する。 次時に表現を工夫したり、三十一音に収めたりする学習を行うことを伝え、見通しをもたせる。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【評価方法】言 (ワークシート) 五七五七七に近い形で短歌を書くことができる。</p>
<p>6 目のトレーニングをする。(10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文字さがしを行い、跳躍性眼球運動のトレーニングを行う。 顔を動かさずに目だけで追うように促す。

III 板書計画

場面が思い浮かぶようにできている。 まとめ 短歌は、五七五七七でできている。	絵 絵	短歌	④短歌ってどんな性格なのだろう。 楽しみは	表現しかたを確かめて、夏休みの思い出を知らせる短歌を書こう。	俳句
---	------------	----	--------------------------	--------------------------------	----

